

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 串本町

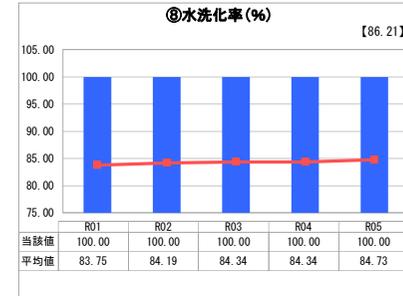
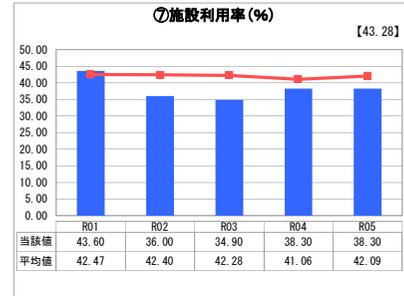
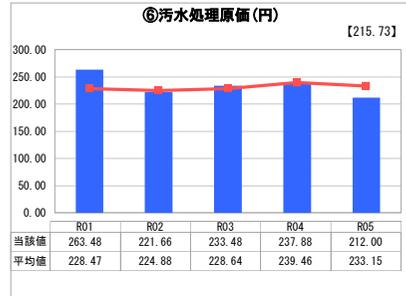
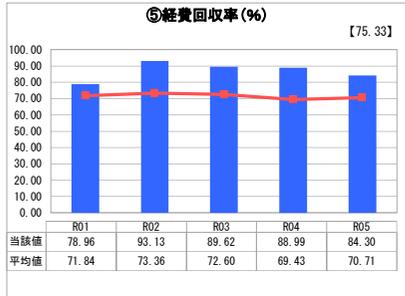
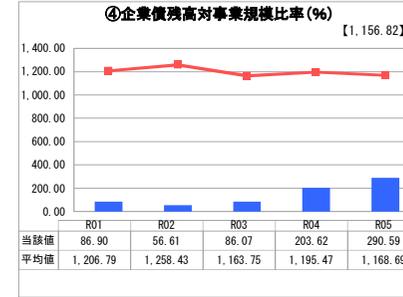
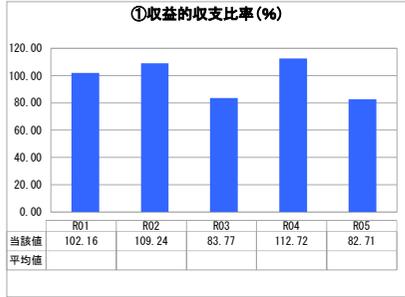
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.97	82.68	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,297	135.67	105.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
561	0.33	1,700.00

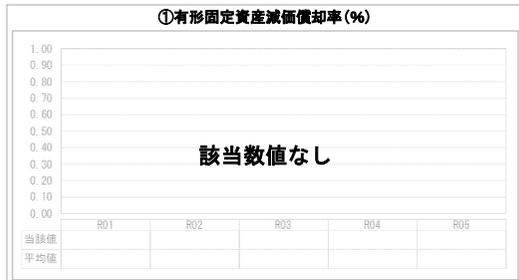
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①今年度、収益的収支率は82.71%に下がっているが、区域内のホテルが改修のため、一時休館したことが原因と考えられるので来年度は回復する見込みである。
- ④企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して低い水準となっているが、前年度と比較して残高が増えた原因は、事業実施に伴う借入れを行ったためである。
- ⑤経費回収率は100%を下回っている。
- ⑥汚水処理原価率は、昨年より減少している。
- ⑦施設利用率は40%を下回っており、有効活用を図るため今後処理区域の拡大による下水道の普及、施設規模の見直し等の検討に取り組む必要がある。
- ⑧水洗化率は100%となっている。

### 2. 老朽化の状況について

下水道管渠については平成6年10月から共用開始しており、老朽化してきていることから耐用年数を迎える前に計画的な調査、修繕を行い、少ない費用で効率的に長寿命化を図れるよう計画を立てることが必要である。

## 全体総括

串本町特定環境保全公共下水道では、平成31年4月1日に条例改正し料金体系を改定している。前年度より使用料収入は多少回復しているが依然として一般会計からの繰入に依存している経営状態である。今後も区域内人口が減少へ推移し、少子高齢化、節水型社会の影響等による減収が見込まれると想定している。原価の削減に取り組むとともに施設規模の見直し等の検討にも取り組む必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。